



DXPの「勝手にDX」提案《概要版》

ホクト：菌類インテリジェンス・プラットフォームによる「ノンリニアな成長」へのルールチェンジ

ホクト株式会社が「きのこメーカー」から「菌類インテリジェンス企業」へと進化するための戦略提案です。

株式会社DXパートナーズ

2026年1月22日



現状分析

デジタル時代への転換の必然性

アナログ前提の限界

物理的資産に依存し、成長には比例的な設備投資が必要。天候や市況に左右される構造的脆弱性があります。

海外事業の苦戦

マレーシアや米国での初期投資の重さと市場開拓の遅れが収益を圧迫しています。

新たな可能性

10,000株の菌株ライブラリーと50年の栽培ノウハウという希少な資産を、デジタルで再定義します。

💡 逆説思考

ホクトの再定義

定説

ホクトは、高品質なきのこを工場で生産し、消費者に届ける「製造業」である。

きのこ(子実体)は、そのアルゴリズムが出力した「ハードウェア」に過ぎません。この再定義により、ビジネス領域はグローバルなヘルスケア市場、サステナブル素材市場、アグリテック市場へと拡大します。

逆説

ホクトは、「菌類の生物学的コード」と「栽培アルゴリズム」を提供する「バイオ・インテリジェンス企業」である。



Mycelium Nexus:3層構造のプラットフォーム



Layer 1: 分散型栽培グリッド

都市部の遊休スペース、レストラン店内、家庭内のスマート栽培ポッドをネットワーク化。IoTで一元管理します。



Layer 2: 菌類インテリジェンス・ファウンドリ

10,000株の菌株ライブラリーをAPIのように外部に開放。
RaaS(Research as a Service)基盤を構築します。



Layer 3: ウェルネス・データ・ループ

消費者の健康データとこの機能性データをマッチング。
個人の腸内フローラに基づき最適なきのこを処方します。



顧客と顧客価値の創造



イノベーター

Bio-Hackers & Eco-Pioneers。パーソナライズされた栽培キットや高機能性ののこサブスクリプションを提供します。



アーリーアダプター

Prosumers & Chefs。店内で採れたてを提供したいシェフや副業農業を始めた都市住民にスマート栽培ポッドを提供します。



マジョリティ

Health Conscious General Public。日々の食事提案アプリを通じて、無意識のうちに健康になる「きのこ生活」を提供します。

多次元的な収益モデル



Farming as a Service

スマート栽培ポッドのリース料とクラウド制御システムのSaaS利用料。継続的なリカーリング収入を確保します。



Strain Licensing

独自の高性能菌株の使用許諾料。バイオ素材メーカーや代替肉メーカーからのロイヤリティ収入を得ます。



Data Monetization

蓄積された「食と健康」の関連データを、匿名加工した上で保険会社や研究機関に提供します。



Marketplace Commission

分散型農家が生産したきのこを、プラットフォームを通じて販売した際のマッチング手数料を得ます。

Income Sources:



\$100000M
41,25%

886K
-91%

E958C
-38%

976K
0,45%

Revenue Sources:



Cash Flow Sterems:

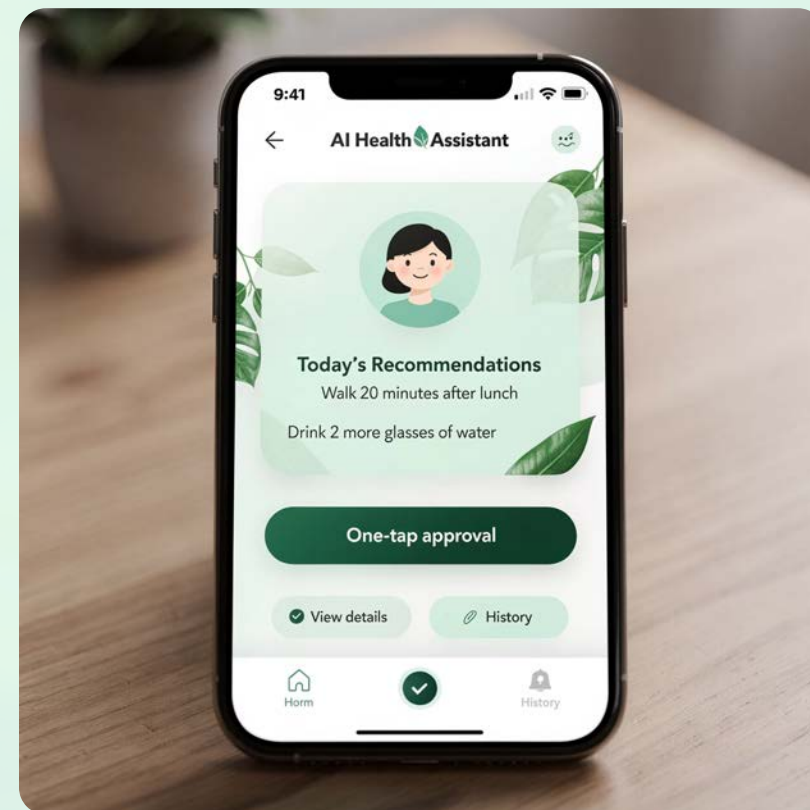


無選択型意思決定の実装

AIエージェントによる究極のUX

健康診断結果、ウェアラブルデバイスの活動量、過去の食事履歴、天気予報を統合分析。「来週は気圧の変化で頭痛が起きやすい予測が出ています。血管拡張作用のあるきのこを多めに配合した『偏頭痛ケアパック』を火曜日に配送します」と提案します。

ユーザーは「承認」ボタンを押すだけ。在庫管理、発注、レシピ検索のすべてが自動化されます。



Fungal Data Harvest Loop

Deploy

スマート栽培ポッドの設置数が増える

Attract

収益性が高まり、さらに多くのパートナーが参入する



Sense

多様な環境下での栽培データが集まる

Learn

AIがデータを学習し、栽培レシピの精度が向上する

Optimize

より高品質・高収量のきのこが低コストで生産可能になる

3段階の変革プロセス

1

Phase 1: Digitization (1-2年目)

全菌株のゲノム解析とデータベース化。主要工場へのIoT導入とデジタルツイン構築。メタジェン等のパートナーとのヘルスケア実証実験を実施します。

2

Phase 2: Platforming (3-4年目)

スマート栽培ポッドの製品化とパートナーへの提供開始(FaaS)。消費者向けヘルスケアアプリのリリース。菌糸体素材のライセンス事業を開始します。

3

Phase 3: Ecosystem (5年目以降)

グローバルな分散型栽培ネットワークの完成。きのこ以外の菌類ビジネスへの拡張(医薬品、環境浄化)。データマーケットプレイスの収益化を実現します。





菌類が世界の食と健康のインフラになる未来へ

レジリエンス

気候変動や原材料高騰のリスクに対し
強靱な事業構造を実現します。

スケーラビリティ

物理的な制約を超えて、かつてないス
ピードと規模での成長を可能にしま
す。

エコシステム

菌類が森のネットワークを通じて生態
系全体を支えるように、ホクトのデジ
タル・ネットワークが世界の食と健康
のインフラとなります。

ホクト株式会社は、「きのこを作る会社」から「菌類の可能性を最大化するインテリジェンス企業」へと生まれ変わります。既存の強みをデジタルの力でレバレッジし、新たな価値を創造する時が来ました。